

全日本海員組合本部会館 保存改修プロジェクト 連続研究会 ②

【建築の保存と活用を結ぶ --- 「継承」のあり方】

日時：2024年6月21日（金）18:00~20:30

場所：法政大学市ヶ谷田町校舎及びオンライン

◎講義1「建築を見つめる小さな仕掛けとしてのマップ」

講師 齋賀英二郎

◎講義2「モノづくりとコトづくり 施設運営の立場から」

講師 中山裕子

◎コメントおよび討論

建物の改修工事は、建物の歴史のみならず、建物を所有する組織の歴史を振り返る貴重な機会となります。

第2回研究会では、約半年後の全日本海員組合本部会館改修工事の完工を見据え、建物の特徴や、建物に刻まれた組織の歴史を伝え発見する手法、運営体制等について、歴史的建造物保存修復および公共施設管理運営の現場で活躍する二人の講師を迎えてお話しいただくとともに、3名のコメントーターを交えて、建物の保存と活用を結ぶ「継承」のあり方について討論を行います。

講師

齋賀英二郎（wyes architects, 元文化財建造物保存技術協会）

早稲田大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了、公益財団法人文化財建造物保存技術協会勤務、2023年より wyes architects。旧富岡製糸場西置繭所保存活用プロジェクトで2022年日本建築学会賞（作品）受賞。

中山裕子（JTB コミュニケーションデザイン）

東京大学工学部建築学科卒業、旭化成ホームズ（株）、UR 都市機構、（株）フォーシーカンパニーを経て2023年より現職。再開発、防災まちづくり、公共施設運営やエリアマネジメントに携わる。

コメントーター

今関俊（公益財団法人文化財建造物保存技術協会）

玄田悠大（東京大学・独立行政法人職員）

松隈章（株式会社 竹中工務店・一般社団法人 聴竹居倶楽部）

お申し込みは
コチラ→



お問合せ：全日本海員組合本部会館将来構想および歴史調査委員会 事務局
otaka.rekishi@gmail.com